

災害時、何かのときに助け合うために

# あいさつ運動の推進

普段から人のつながりが大切!

## 掃水まちづくり協議会 たより

平成20年2月15日  
掃水まちづくり協議会  
NO. 16

見出しの標語は、掃水まちづくり協議会の中の心的運動標語です。地域の皆さんのあいさつへの協力をお願いします。

### 来年度総会は

四月十三日(日)  
午後一時三十分から

去る一月二十二日の協議会本部役員会において、来年度の協議会の総会を四月十三日(日)に開催することを決定しました。会場は、J.A松阪本店です。

掃水まちづくり協議会は、会員である皆様のご理解とご協力のお陰をもちまして第二期目を迎えさせていただきます。

第二期目では、第一期で掲げさせていただきましたテーマ「みんなが元気で、仲良く楽しいまちづくり」を引き続き実践させていただきまします。それにより、「挨拶運動の推進」など、おのよその年間行事も本年度のものを充実・推進させていただく予定です。

・総会終了後の講演会には地震防災について専門家を招きます。

講師 山本康史さん(県防災ボランティアコーディネーター養成協議会議長)

・掃水夏まつりは八月二日(土)に実施します。また各自治会には夜店をお願いします。

・毎月の「協議会たより」には、前公民館長三宅忠行さんに地元の仕事や名所旧跡を連載で紹介していただきます。また、各自治会活動の一端を連載します。

詳しくは、これからの本部役員会で決めさせていただきます。できるだけ早く皆様には報告させていただきます。



ごあいさつ  
松阪市議会議員 (五十音順)  
清水町 安達 正昭

榊田地区の皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より大変お世話になります。有難く厚く御礼を申し上げます。

松阪市議会だよりとして、私の生活の一端をご報告申し上げます。昨年八月より議会運営委

員長の任命を受け、議会全般のスムーズな運営、とりまとめをさせて頂いている次第であります。マスメディア等でご案内の松阪駅西地区再開発、三交跡地の活性、中心市街地活性化、庁舎の耐震問題等、議会では活発な質疑が展開され、しばしば暫時休憩、とりまとめは議会運営委員長が調整し、議会再開となります。大変勉強をさせて頂いており、有難く思っています。

さて、これからの松阪市は諸問題を抱えております。まず駅西地区の再開発事業、二十一階マンション、ホテル、総合福祉センターの建設では松阪市議会が始まって以来の二十三時間に及ぶ徹夜の審議があり、採決の結果、可決いたしました。今後は三交跡地も含め考えていかなければなりません。

庁舎の耐震調査では補強が必要とのことで、私は合併特別債を活用し、三交跡地に庁舎を移転してはと考えます。中心市街地の活性も図れると考えている所であります。現段階での総合運動公園の活用も皆様と共に考えて行きたく思っております。

地域の代表であることを肝に銘じ頑張ってまいります。今後共、深いご理解とご支援を切にお願い申し上げます。

伊賀町 山本 芳敏

今年、地球環境問題が大きくクローズアップされる年です。七月には北海道洞爺湖サミットが開催され、「地球環境問題」が議論されます。私達は、CO2排出による地球温暖化によって地球が悲鳴を上げ、待ったのきかない状況になってきている事態をしっかりと認識し、四季折々のすばらしい自然環境を、なんとしても後世に引き継いでいく義務があると思えます。

今年初めのゴミ収集は、掃水地区は、九日間空いてしまったことと、どこの収集場所もゴミの山となっていました。私はこのゴミの山が半減できないだろうかと、そのゴミの山の中身を見ると資源物としてリサイクルできる発泡スチロール、ペットボトル等が数多く含まれていました。私は限りある資源の中、リサイクルできる資源物を分別することは、各家庭単位でできる環境対策であり、地域環境を守っていく第一歩ではないかと思えます。掃水地域の皆様には、皆で今以上の資源物回収にご協力いただきたいと思います。

掃水まちづくり協議会の皆様には自分たちでできる、地域でできる身近な環境対策を考え、取り上げていただき、地域全体で(裏に続きます)

実践していただきたいと考えています。

私も、議員一年生ですが、できる限り地域の皆様のご意見を聞かせていただき、地域の皆様のお役に立てるよう精進してまいりますので、何卒ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

シリーズ  
あいさつについて  
思うこと

掃水小 二年生

山添町 井坂 ありな

わたしは、毎日学校から帰るときに、きんじよの人にあいさつができるようになりました。「ただいま」と、わたしが声をかけると、むこうの人も、「おかえり」と、やさしく言ってくれます。だから、わたしはきんじよの人となかよくなれたと思います。毎日誰かがいてくれるので、わたしは、うれしいです。前はきんじよの人とあいさつをするのが、はずかしくて言えなかったけど、今は、言えるようになりました。きんじよの人が、「ねんせいよりか、今の方がいいね」と、言ってくれました。今のわたしが、一番いいです。



すべての住宅に火災報知機の設置が義務付けられています。期限は今年の五月三十一日です。

ゴミ拾い 東部中 一年生

みどり苑 鈴木 まあや

私は、十月七日、東部中学校の周りのゴミ拾いをしました。東部中の周りのゴミは約十キログラム出ました。これらのゴミは、ほとんど車からのポイ捨てだと思えました。なぜかという袋とかが落ちていたからです。一番最悪だったのは、タイヤです。なぜこのようなゴミを捨てていくのかわたしには理解不能です。私は、一度もポイ捨てをしたことがありません。そういうことをしている人は環境と言う言葉すら出てこないと思います。マナーを知らない連中です。私はそういう人を見たらぜったい必ず注意をします。歳がすぐくはなれていようが関係ありません。

今の私には、注意とゴミ拾いと将来という取り組みをするかとかを考えるしかできない。

将来私は、それがほんとうに取り組んでいけるようにがんばります。心の中ではすべて、マナ I LOVE ECO ですから。



ふところ餅作りに参加して  
保健福祉部事業

豊原町 高見タツ子

公民館の調理室は快い空気が漂っています。「ふところ餅作り」の集いです。前日から準備をして頂いた材料を搗(つ)き上げ、それぞれ班別に伸ばしたり、切り分けたり、作業を楽しみました。温かい湯気、餅の香りの籠(こ)もる室で、二時間余りはあつと言う間でした。前日からの下準備、又、餅をつき上げる工程をお世話くださったスタッフのご苦労に、心からお礼を申し上げます。

- ・ 搗き上りし懐餅に触れ乍ら甘きその香に亡き母思ふ
- ・ 黒糖の淡き香ふくむ湯気の中餅に触れつつ心和めり
- ・ 伸ばし板に湯気たつ餅を囲み居る人ら和みて話弾めり
- ・ 昔日の麦踏仕事に持ち行きし

懐餅の思い出を聞く  
・ 懐餅を懐かしみ居る太田氏か目を細め言ふ過ぎし日の事

掃水小 四年生

柳田町 丸島エ工

一月十九日に、わたしは、ふとろもちを作りました。まず、最初にこなを、水でまぜてこねました。みんながやっているのを見て、わたしもこねました。わたしはかんたんなのかなと思っていたらすごく力がいりました。みんなでこねるとやわらかくなりました。

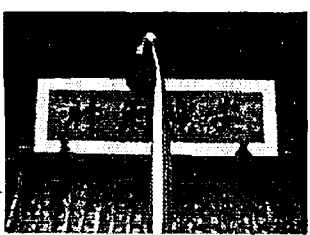
次に、こねた物をうすくして、お米に立てました。立てるのがむずかしくて、たおれていきそうでした。それを五十分むしきでむして、むしたのをもちつききでまわして、黒ざとうをばらばら入れます。いたにこなをひいて、できたらななめに切って、つつむようにしてのばしていきました。最初は失敗したけれどおぼさんがやさしくやり方をおしえてくれてじょうずにできました。した後、きなこもちを食べました。もちもちしています。食べた後に、家から持ってきたタッパーへふところもちを入れて、家に持って帰りました。またきかいがあったら参加したいです。ふところもちづくりはわたしの思い出に残りました。

知事より表彰!

掃水校区老人会長 関岡幸之助様

二月四日、県庁舎で野呂昭彦三重県知事より福祉団体指導者功労表彰を受けられました。おめでとうございます。

「安楽天神の梅を 見に行きませんか」



学問の神様「菅原道真(すがらみちざね)公」を御祭神とする安楽天神は、これからの時期数多くの梅が花を咲かせ参拝客を楽しませてくれます。

天神さんは、安楽町の入り口に位置し、駐車場もあります。受験生を持つご家族は、受験祈願と併せて梅見はいかがでしょうか。